

聖隷淡路病院には、緩和ケアを行う病棟があります。ここでは、どのような方を対象にどんなことをしているのか、看護師がまとめた文章を紹介いたします。

看護はあらゆる年代の個人・家族・集団・地域社会を対象として、健康の保持増進・疾病の予防・健康の回復・苦痛の緩和を行い、生涯を通してその最期（とき）まで、その人らしく人生を全うできるように援助を行うことを目的としています。私は今、「緩和ケア」という看護をさせて頂いています。「緩和ケア」という言葉は初めて聞いた方が多いと思いますが、「緩和ケア」とは、がんによる体と心の痛みを予防したり、和らげることを言います。

がんで苦しむ人は、お腹の痛みや息が苦しいという身体的な痛みだけでなく、心の痛み、つまりがんになった不安、痛みの不安、残していく家族に対する心配など、いろいろな想いを持っています。その体と心の痛みのケアをし、患者さんやそのご家族が自分らしい生活を送れるように支援すること、それが「緩和ケア」です。自分らしい生活を送るために人々は、十分な知識や情報を得た上で医療や看護を選択す



## 人権の眼 No.49

### 『緩和ケア』を知っていますか？

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷淡路病院院長

**勝哉**

**黒田**

権利を持っています。そして、自己の判断でその事柄について決定する事が出来ます。例えば、お家で過ごしたいというケースについて「介護に不安がある」「点滴が必要」「注射での痛み止めが必要」といった場合でも、お家に訪問してくれる往診医や訪問看護師などがおり、自宅でも医療を受ける事が可能です。ずっと傍に医療者がいる訳ではないので心配はあるかと思いますが、実際は病院で過ごすのもお家で過ごすのも大差はありません。だからといってお家で過ごす事を勧めている訳ではありません。病院で過ごす事を選択される方もおられるでしょう。過ごす場所はどこであっても、ご本人・ご家族が何を大切に、何を希望されるかだと思います。「がんがあつても本来の自分」として、生きられるように私たちは支援したいと考えています。是非この機会に、ご家族で話し合ってみませんか？そして私たち医療者にその想いを聞かせてください。今とこれからを一緒に考えさせて欲しいと思います。

私たちが最後まで「自分らしく生きる権利」を持っています。人生の節目・節目で大切に考え合ってください。

あつても本来の自分」として、生きられるように私たちは支援したいと考えています。是非この機会に、ご家族で話し合ってみませんか？そして私たち医療者にその想いを聞かせてください。今とこれからを一緒に考えさせて欲しいと思います。

## Pick Up 人権ビデオ

### 日本一短い「母」への手紙〜一筆啓上〜

日本で最も古い天守閣を持つ福井県丸岡町（現在、福井県坂井市）にある丸岡城には、最も短い手紙文を刻んだ碑、「二筆啓上・火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」があります。碑文は、400程前に徳川家康の功臣、本田作左衛門重次が陣中から妻に宛てて送った手紙として有名です。（文中の「お仙」とは、重次の息子仙千代で、後の丸岡城6代目城主となった本田成重のことです。）丸岡町が、この碑文からヒントを得て、日本で一番短い手紙文の再現、手紙文化の復権を目指し1993（平成5）年から行われている一筆啓上賞のテーマが、日本一短い「母」への手紙でした。



制作：信越放送株式会社  
 ■DVD 本編 32分  
 【問い合わせ先】  
 淡路市市民生活部人権推進課  
 TEL：0799-64-2521  
 FAX：0799-64-2565

手紙文の再現、手紙文化の復権を目指し1993（平成5）年から行われている一筆啓上賞のテーマが、日本一短い「母」への手紙でした。誰もが共有できる「人生の絆」のお話に、全国より32236通の手紙が寄せられ、一冊の作品集として刊行されているのですが、このDVDでは傑作の11作品を収録しています。ご視聴下さい。

- 事務局コメント
- DVD収録以外の傑作作品を紹介します。
- ・何度も同じ話をするお母さん
- ・嫁や孫はにげても、私は何度でも聞きたい。（大阪府41歳男性）
- ・母へ 秘密家出チケット、送る。ウサばらし、夫婦げんかに お役立てを。―東京見物―（東京都27歳女性）

### 企業経営者人権啓発セミナー（案内）

企業には、お客様を大切にすること、明るく働きやすい職場づくりをすすめること、地域社会に貢献することなど、企業活動のあらゆる場面で、人権に対する配慮が求められています。

期日：11月20日（15：00～16：30）  
 場所：ホテルクラウンパレス神戸  
 内容：演題「人を活かし、喜びを共創できる職場づくり」  
 【講師：白井 麻紗社（日本ウエストン株式会社 代表取締役社長）】  
 主催：兵庫県経営者協会、（公財）兵庫県人権啓発協会

申込み先：市民生活部人権推進課（電話 0799-64-2521）

第48号のクイズの当選者は次の20名です。図書カードを送ります。（敬称略）

大下昌仁（大谷 井高靖子（志筑）村西秀子（佐野）松浦美代子（生徳）藤若和代（生徳）元岡智恵（志筑）山下礼子（生徳）中谷真也（志筑）中来田朝子（浦）立石昌之（釜口）田中輝子（楠本）神前信子（岩屋）竹村和代（浅野南）越生美久子（浅野南）米山やよい（富島）中山みち子（育波）菅谷泰枝（入野）網代美千子（江井）飯沼司郎（深草）才神明子（草香）

※正解は「デオオーネ」。  
 応募総数は41通でした。